

ニュース光

第167号

2022年5月29日

第167号

関西カトリック教会

信託会

hkari@gionkyokai.jp

2022年

教会活動のキーワード

再確認

主任司祭 李 相源

広島教区は創立百周年という大きな節目（二〇二三年五月四日）を一年後に迎えるよう計画しています。そのために自派司教員より二〇二四年から十年間の広島教区の宣教師司教員目標が示され、この方向性のもとに一致し、共に喜びを持って福音を伝える教会に成長していけるよう、呼びかけています。

①司教書の再確認

三つの柱から五つの「強調点」へ。
（一）平和・きょうじょう・養成
（二）〇六（三）司教書

三つの柱から、教皇フランシスコが「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教と宣言するテーマで、二〇二三年十月に世界代表司教会議（世界シノドス）を開催することを宣言されたことに応えて「平和・福音・宣教・多文化共生・協働・養成」（二〇二二年自派司教書）の五つの強調点に進む。

②典礼活動の再確認（あたたかしの源泉に立ち帰る）

「新しい典礼」、日本語のミサ式次第が改訂され、待降節第一主日（十一月二十七日）から実施されることになる。種々の面で不自由さや困難が予測されるが、これを機にミサの源泉を再確認しつつ混乱を乗り越えていく。

③司牧活動の再確認（あたたかさを育む共同体をつくる）

「信徒のしおり」、祝詞教会の広島教区に移管し、カトリックの信仰生活が分かる「信徒のしおり」の改訂版を用意し、内容を再確認する。なお、出版後、十年を経過した「信者名簿」の改訂作業を進め、地区会を中心に祝詞教会に属している信徒の現状を把握し共有する。

④宣教師活動の再確認（あたたかさを広げる教会を築く）

「信徒会館」、新しい居場所が出た。ある信者が言った、「おトイレを貸して下さい」と。お家だと思えるにはまだ時間がかかるのか、この新居が信徒活動の求心力となるように。

福音の原点を見つめる

助任司祭 久保裕巳

カトリック教会には長い歴史があります。イエスの使徒たちから始まる初代教会を礎とする教会です。二〇〇〇年という時代の流れの中でそれぞれの文化や必要に応じて様々な伝統や儀式が生まれ、福音が築き上げられてきました。教会が大きな変化を求められる時、その都度、教皇様を中心として公会議や世界シノドスが開かれカトリック教会の方針や指針が示されてきました。いずれの公会議やシノドスでも最も大切な事は新しい変化を目指すのではなく、「福音の原点」にかえるという事です。

教会に大きな変化をもたらした第二バチカン公会議もまさに「福音の原点」を目指したものでした。この公会議で具

体的な教会生活には大きな変化がありました。ミサ等の典礼の各国語化、修道制の見直し、聖体拝領の頻度と方法、聖職者中心から教会共同体中心へ、数え上げればきりがありません。

こういった変化は決して新しい結果なのです。私たちが返った結果なのです。私たちが「昔はこうだった」とか「う

ちの教会の伝統は」などと言いがちですが、カトリック教会は新しい変化が必要な時、常に原点回帰を目指しています。矛盾するような表現ですが、福音の原点の中に新しいいかなる時代においても「驚き」が存在するのです。逆に言い換えるならば「新しさ」を求めるとき「イエスの福音」にその源があるのです。

祝詞教会が目指す「再確認」もまさにこのことを意味しているでしょう。新しい典礼、新しい信徒の在り方を示す「信徒のしおり」、信徒会館の在り方、これら全ては新しいのではなく、福音の原点を見直すにあたって本来の在り方を目指すものです。たかが五〇年や一〇〇年の歴史の中から生まれた伝統や風習ではなく、本来の二〇〇〇年前の教会の在り方とその精神に照らしたとき本来的な在り方が実現し、「福音の原点」を生きた変化がもたらされるでしょう。



ロシアのウクライナ侵攻が始まって二カ月が過ぎた。テレビ・新聞等のメディアでこのニュースが取り扱われぬ日はない。新型コロナウイルスはまだ猛威を振るっているが、どこか隅の方に追いやられている。

五十年以上前になるが、北アイルランド紛争が世界中のニュースになった。この紛争はイギリス領である北アイルランドに住む、イギリスから移り住んだ移民の子孫（プロテスタント信者）と、親アイルランド系住民（カトリック信者）との紛争であった。そのため、この紛争は宗教戦争とも言われたが、国家間の争いにはならなかった。

その頃の私は受洗前だったが、東京の渋谷区にある初台教会の青年会の人たちと親しくなり、若い神父を交えて、酒を酌み交わしながら北アイルランド紛争について議論した記憶がある。

ブーチン大統領は熱心なロシア正教徒だと聞くが、同じイエス・キリストを主とする者として、真の平和を求める民になつてほしいものである。

この「ニュース光」が発行されるころには終結していることを・・・